

水痘（みずぼうそう）

水痘は水痘・帯状疱疹ウイルス（VZV）が原因の、とても感染性の高い疾患です。かゆみを伴う小さな水疱を形成する発疹と倦怠感、発熱といった症状があります。発疹は、まず、胸やおなか、背中、顔に現れ、その後、全身にひろがります。重篤になることもあります。

症状

典型的な症状はかゆみを伴う小さな水疱を形成する発疹です。最終的にはかさぶたになります。発疹は、まず、胸やおなか、背中、顔に現れ、その後、全身にひろがります。発疹が出現する 1, 2 日前から

- ・ 発熱
- ・ 倦怠感
- ・ 食欲不振
- ・ 頭痛

などが生じることがあります。

潜伏期

平均潜伏期間は、多くの場合、約 14 日（10-21 日）です。

感染経路

接触や発疹に含まれるウイルスの吸入から感染します。また、おそらくは会話時の唾液や呼気に含まれるウイルスの吸入によっても感染します。

（” Chickenpox (Varicella),” Centers for Disease Control and Prevention, <https://www.cdc.gov/chickenpox/index.html> より）

予防法

水痘抗体価を調べ、陰性の場合、ワクチンを接種することが感染予防に重要です。このことは特に医学系・教育系の学生・教職員、病院職員にとって重要です。

水痘と診断された場合

水痘と診断された場合は、登校・出勤せず、担当事務ならびに保健管理センターにご連絡ください。

・学校における出席停止期間の基準

すべての発疹がかさぶたになるまで（学校保健安全法施行規則）

・病院職員ならびに診療に従事する者

まず、病院感染制御部（Tel: 082-257-5372）に連絡の上、その指示に従ってください。

ご不明な点があれば、ご相談ください。

保健管理センター（Tel: 082-424-6192, email: health@hiroshima-u.ac.jp）